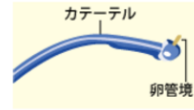


# 卵管鏡下卵管形成術（FT法）の流れ

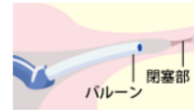
- ① 先端に内視鏡（卵管鏡）を内蔵した細いカテーテルを使用します。



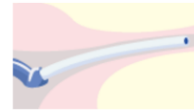
- ② カテーテルを膣から挿入し、子宮頭部を確認した後子宮内に挿入し、卵管の入口を探します。



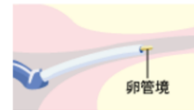
- ③ 入口を見つけた卵管内にバルーンを伸ばし入れてゆきます。



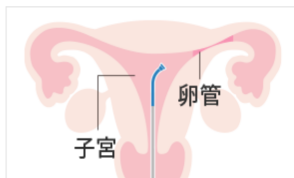
- ④ 卵管内で狭窄している場所をバルーンで広げ入れていきます。同時に閉塞部分もバルーンで拡張していきます。



- ⑤ すべて終了後にバルーンを戻しながら卵管内を確認し手術を終了します。

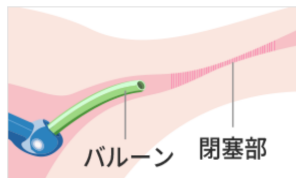


## 実際の手術



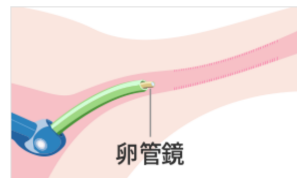
### 1. カテーテルを子宮へ挿入

FTカテーテル(直径約1mm)を膣から子宮へと挿入し、卵管鏡で卵管の入り口を確認します。



### 2. バルーンを卵管へ伸ばし加圧する

カテーテルのバルーンを卵管の閉塞部まで伸ばしていき、バルーンを加圧しながら、閉塞部を押し広げます。



### 3. 卵管の状態を確認

閉塞部を開通した後、卵管の状態を卵管鏡(内視鏡)で確認し終了です。